

生産間伐の研修会が行われました

平成20年11月30日に北上市にある上門岡生産森林組合の研修が行われました。今年度は組合所有の森林で生産間伐を行なう予定となっており、間伐予定地で森林の状況を見ながら研修が行われました。

現地は北上市の東南に位置する32年生のスギ林です。当組合では以前から積極的に下刈や除伐などの森林整備を行っています。今回の間伐予定地は作業道に隣接し、木の成長もよいことから生産間伐を実施することとなりました。

研修においては、生産間伐の概要や出材量、収支予測の説明が行われました。参加者からはスギカミキリの被害などについての質問が出され、実際に森林を見ながら研修を行うことが出来ました。

植栽を行った当初は販売した木の収入を使い、組合員みんながハワイに行こうと目標を立てていたそうですが、木材価

格の低迷により無理ではないかという話も出ていたそうです。今回の間伐で収入が見込めるため、組合員からは「ハワイは無理でも常磐ハワイアンセンターに行こう」という明るい話題も出てきました。

今回間伐を行なう林分は組合所有の森林だけですが、今後他の林分についても周辺の個人所有林を巻き込んで間伐を行なっていく予定としております。また、森林組合でもこの間伐の状況を組合誌に掲載し、生産間伐の実施を呼びかけることとしております。



研修会の様子